

研究協力をお願い

昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

回復期病棟での栄養サポートチームによる栄養療法と SGLT2 阻害薬が及ぼす機能的自立度評価法(FIM)との関係性についての分析
1. 研究の対象および研究対象期間 2023年4月1日から2024年1月10日に昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院の回復期病棟に入棟された患者さん
2. 研究目的・方法 回復期病棟のある栄養サポートチームでは、必要エネルギー量と摂取エネルギー量の差が250kcal以上マイナスとなる患者さんを低栄養患者と定義し、支援を行っています。糖尿病の治療薬であるSGLT2阻害薬を服用している際は、適切に食事から栄養を摂取できていない場合には、筋肉量が減少した状態になるリスクがあり、十分な注意が必要であるとされています。上記のようにSGLT2阻害薬の有無が従来の栄養療法に影響があるか、また、SGLT2阻害薬の有無が患者さんの日常生活動作の自立度の変化に影響を及ぼすのかを、診療録情報を用いて明らかにすることを目的とします。要因を分析することでSGLT2阻害薬を有している患者さんの栄養療法の改善、低栄養の改善、そして、日常生活動作の改善の一助になることが考えられます。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで
3. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景、理学・作業・言語療法実施状況、薬剤の内服数、認知機能の程度、悪液質、回復期病棟実績指数、リハビリ実施単位数、腹部症状の有無、嚥下障害の程度、糖尿病の有無、HbA1c、随時血糖値、SGLT2阻害薬の有無、入院時FIM、退院時FIM
4. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。
5. 研究組織 研究責任者：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター 永野彬人

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

氏名：永野彬人

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1

電話番号：045-974-2221